

06.3.28



# 今月の経済・金融情勢

## ～わが国をめぐる経済・金融の現状～

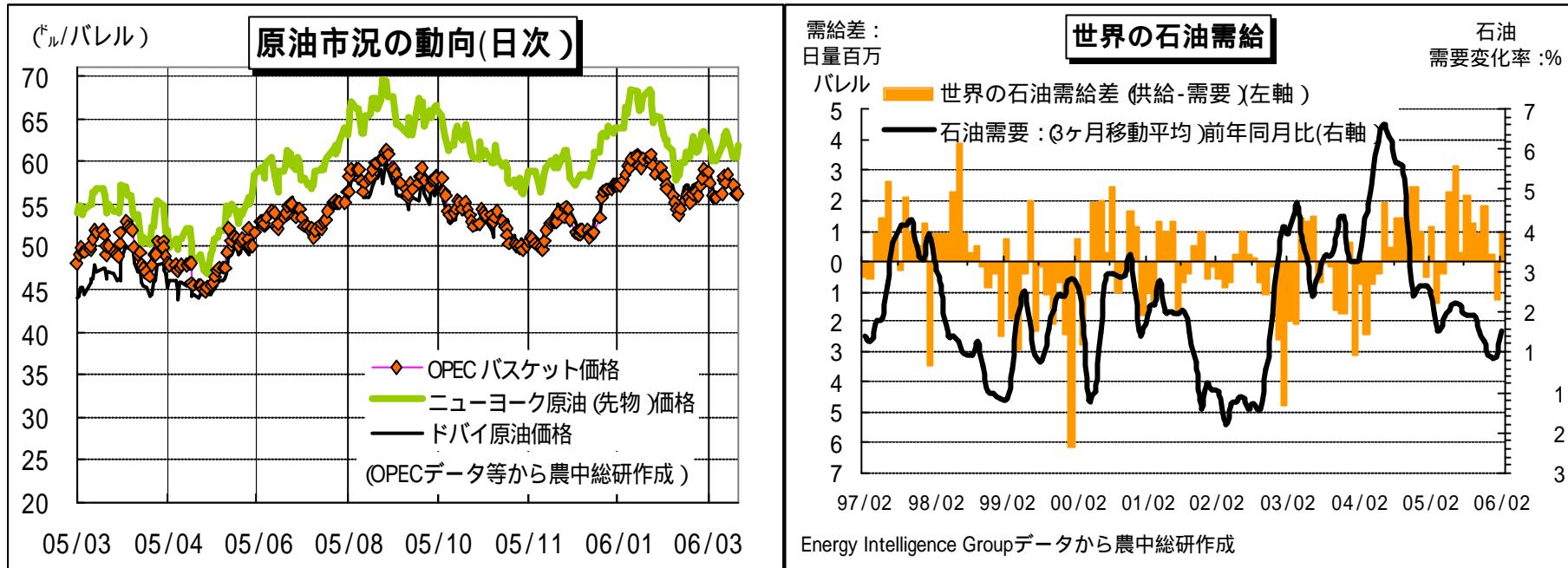
2006年3月

農林中金総合研究所  
調査第二部 経済金融 班

<http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html>

1. 原油価格は、2月中旬にWTI(期近物)が1バレル=57ドル台と約2ヶ月ぶりの安値を付けた以降上昇に転じ、3月下旬には64ドル台に再上昇した。OPEC(石油輸出国機構)が3月8日の総会で現行生産枠(日量2800万バレル)の据え置きを決定したものの、イラン核開発問題をめぐる解決の糸口が見えないほか、増加傾向にあった米国のガソリン在庫が減少に転じたことなどから上昇につながった。春季にかけ需要減少が見込まれるが、当面はイラン問題やナイジェリアでの政情不安などが懸念されるほか、中国・インドなど新興国の高成長が持続していることもあり、原油価格の高止まりが予想される。
2. 米国では、景気拡大が続いている。05年10~12月(改訂値)は前期比年率+1.6%(速報値+1.1%から上方改訂)と、ハリケーンの影響や自動車販売の反動減などから一時的に成長鈍化した。しかし1~3月はハリケーン後の復興需要から成長率が押し上げられる見通し。また非農業雇用者数の増加基調が続くなど雇用環境が改善している。一方、米政策金利は1月31日に0.25%引き上げられ4.50%になり、次回3月も利上げされる見通し。米長期金利は1月中旬に4.3%台に低下した後、このところは4.7%台に上昇して推移している。
3. わが国では05年10~12月期の実質GDP成長率(第2次速報)が前期比+1.3%(年率+5.4%)と4四半期連続のプラス成長となった。1次速報からわずかに下方修正されたものの、民需主導の回復に変りはない。足下1月の鉱工業生産は、6ヶ月連続のプラスとなった。生産は2月も上昇するが、3月にはマイナスとなる見通し。また設備投資は企業収益の改善を受け増加傾向が続いており、先行指標となる機械受注は引き続き1~3月も増加する見通し。さらに大企業の賃上げ率が9年ぶりに上昇する見通しであるなど雇用・所得環境の改善などを背景に、先行き消費拡大への期待から消費者マインドも改善・向上している。
4. 外国為替市場では米国の利上げ継続期待からドル高基調が続き、1ドル=117円~118円程度で推移している。日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは、量的緩和政策の解除観測等を背景に3月以降1.7%台に上昇して推移。一方、1月の消費者物価は3ヶ月連続で前年比プラスとなり、原油高等から先行きもプラス圏で推移する見通し。これを受けて日銀が3月9日に量的緩和政策の枠組み解除し、金融市場調節の操作目標を日銀当座預金残高から無担保コールレートに変更した上で、当面ゼロ%で推移するよう促すことを決定した。日経平均株価は、3月初旬に15,600円台まで下落した後、持ち直し、このところは16,500円台前半で推移している。
5. 政府は3月の「月例経済報告」で景気判断を「回復している」と据え置き。日銀も3月の景況判断を「着実に回復を続けている」と据え置いた。

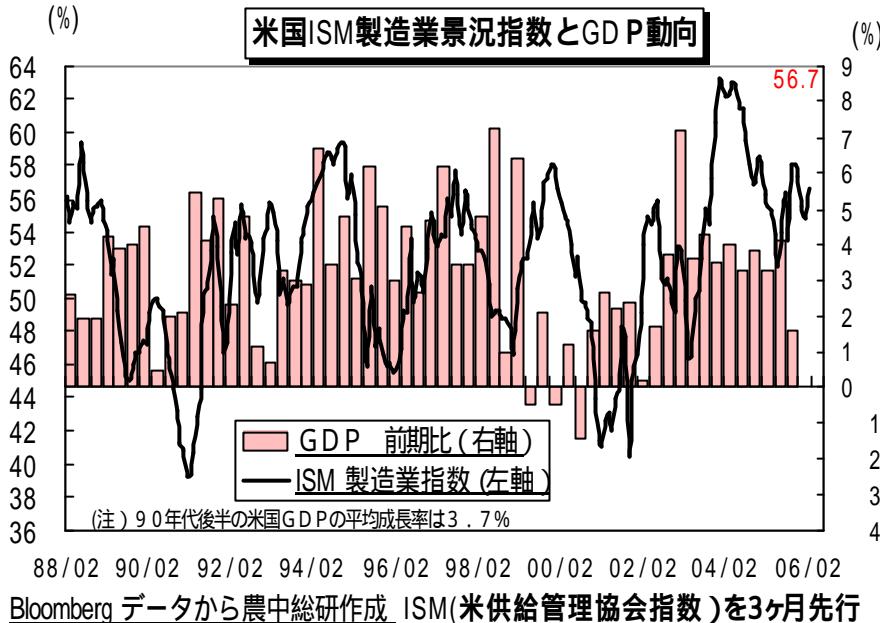
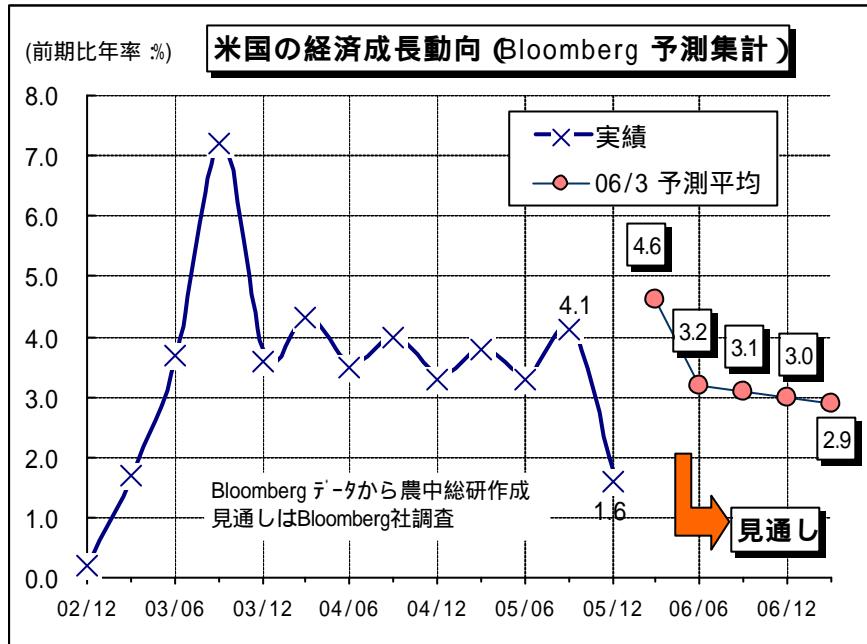
# 原油価格：イラン核開発問題などから再上昇



- ・ニューヨーク原油先物価格(WTI期近、終値)は、2月15日の1バレル=57.65ドルをボトムに上昇に転じ、3月23日は63.91ドルの高値となった。年明け以降、イラン核開発問題やナイジェリアでの武装勢力による石油精製施設への攻撃など、供給不安観測が根強い。イラン核問題については国連安保理に付託され、米英両国やフランスは議長声明の採択を模索しているが、イランと経済的つながりの深いロシアが抵抗し、妥協の糸口が見えない状況が続いている。一方、OPECは3月8日の定例総会で現行生産枠(日量2800万バレル)を据え置くことを決定した。
- ・当面は、中国、インドなどの新興国の需要増加から中期的な需給引き締り観測、およびOPECの高めの価格政策指向、中東情勢とテロ懸念などから、原油価格の高止まりが予想される。

# 米国経済

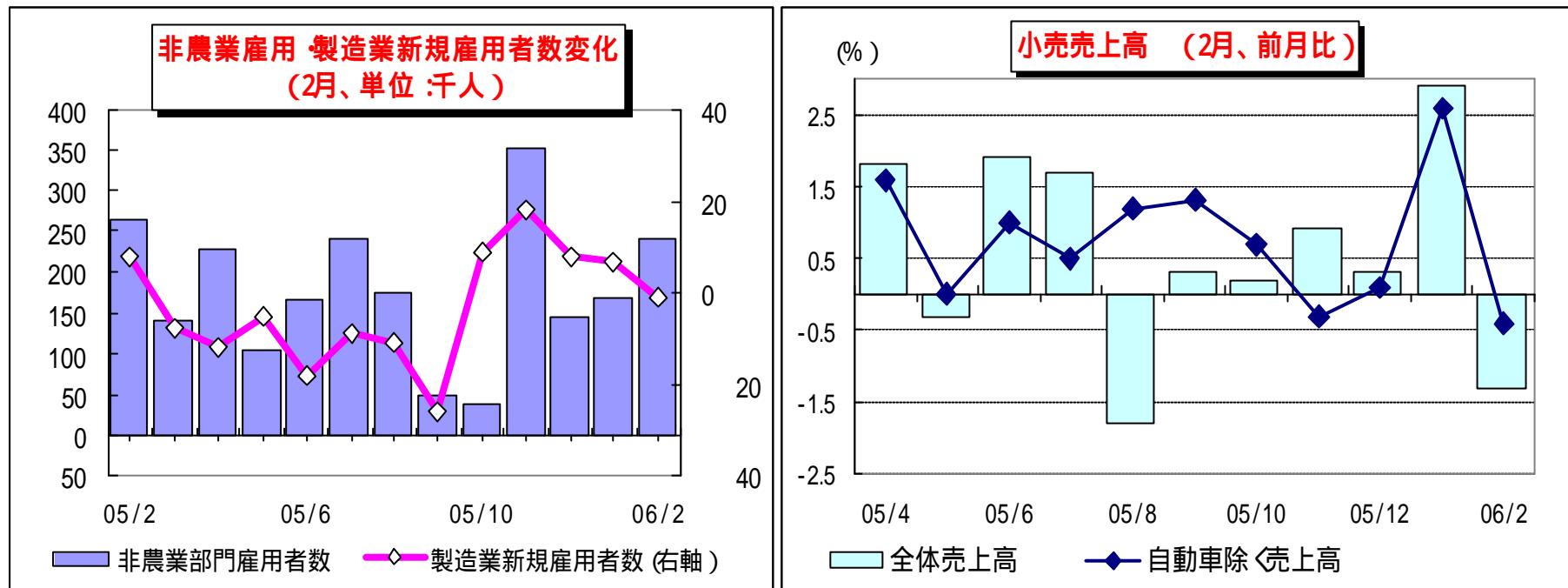
## ：10-12月期は一時的に成長鈍化



- 米国の05年10～12月期の実質GDP（改定値）は前期比年率+1.6%（速報値+1.1%から上方改訂）とハリケーンの影響や自動車販売の反動減などから一時的に成長鈍化した。しかし06年1～3月期はハリケーン後の復興需要から成長率が押し上げられる見通し。06年2月調査によれば米国エコノミストは、今後も3%台半ばの成長が続くと見込んでいる。
- 代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会 (ISM) 製造業指数」は、05年11月に58.1に達して以降3ヶ月連続で前月を下回ったが、2月は前月比 + 1.9ポイント上昇の56.7となり、事前予想を上回った。景気判断の分かれ目となる50を上回っており、米製造業は堅調に推移している。

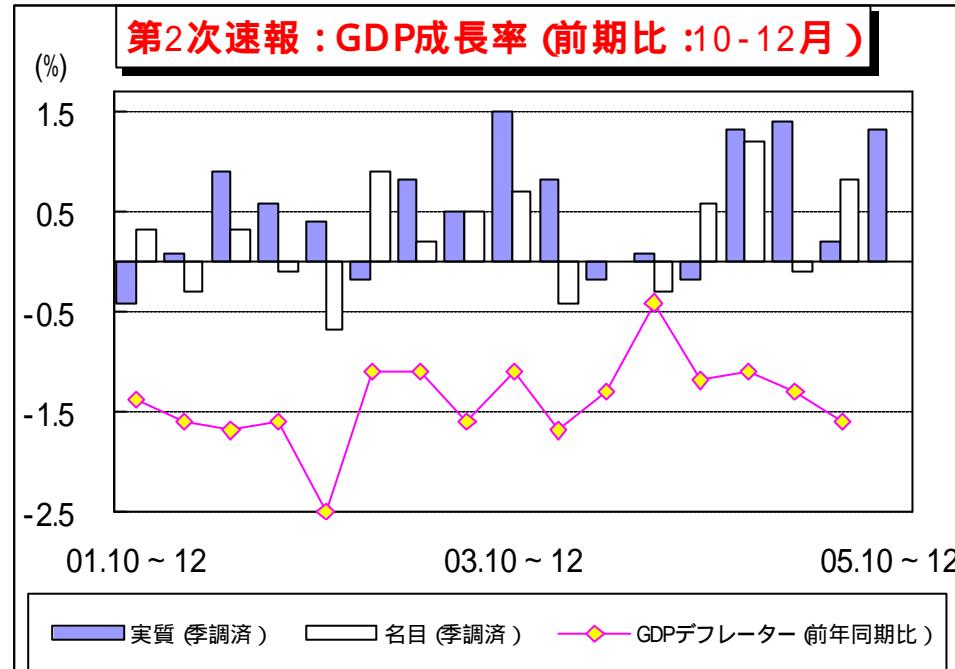
# 米国経済

## 雇用者数が引き続き増加



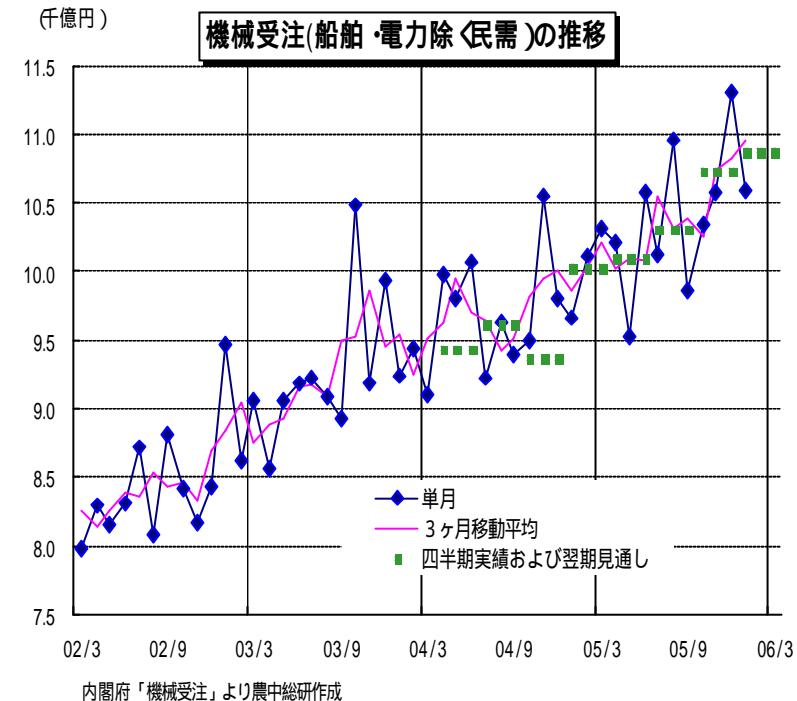
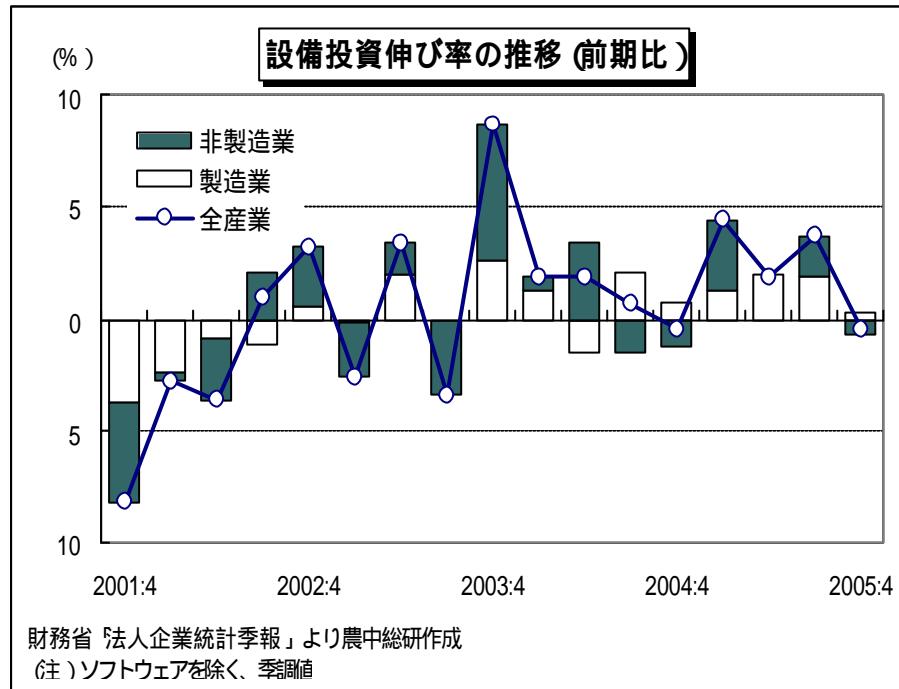
- 05年2月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が + 24.3万人増加した。事前予想の + 21万人を上回り、増加基調が継続。一方、2月の失業率は4.8%。前月は4.7%と 01年7月以来4年6ヶ月ぶりの低水準だった。平均時給は16.47ドル、前年比 + 3.5%と 01年9月以来の伸びとなり、インフレ加速のリスクを示した。
- 2月の全体売上高は前月比 1.3%と 市場予想を下回り、6ヶ月ぶりにマイナスに転じた。また、変動の大きい自動車を除くベースでは、同 0.4%と前月の同 + 2.6%から反転した。ガソリンや暖房油など石油製品価格は高止まりしているものの、前月に比べ低下した。雇用・賃金環境が改善していることから、2月の落ち込みは一時的にとどまる可能性が高い。

# 国内の経済成長率 :4四半期連続のプラス成長



- 05年10～12月期の実質GDP成長率(2次速報)は前期比+1.3% (同年率換算+5.4%)と4四半期連続のプラス成長となったが、1次速報の同+1.4% (年率+5.5%)からわずかに下方修正された。設備投資の下方修正が成長率を押し下げたが、個人消費、民間住宅は上方修正されており、民需主導の回復に変わりはない。
- 政府は、06年度の成長率を名目で前年度比+2.0%、実質で同+1.9%、GDPデフレーターは同+0.1%とデフレ脱却の見通しを示している。

# 国内の民間企業設備投資 増加傾向で推移



- 05年10～12月期の法人企業統計季報では、設備投資(除くソフトウェア)が前期比+0.4%と4四半期ぶりにマイナスとなった。製造業の伸びが鈍化し、非製造業が2四半期ぶりに減少したため。
- 民間設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除いた民需)は、1月に前月比+6.2%と4ヶ月ぶりにマイナスとなった。しかし1～3月期は前期比+1.3%と6四半期連続で前期を上回る見通し。
- 日銀短観12月調査によれば、05年度設備投資計画は前年度比+9.1%と、3年連続で増加する見通し。また、設備投資の動きに先行性がみられる設備判断も過剰感が解消されている。
- 好調な企業収益、実質マイナス状態の金利水準などを背景に、今後も設備投資の堅調さが維持されると考えられる。

# 鉱工業生産

:1月は上昇、2月は低下する見込み



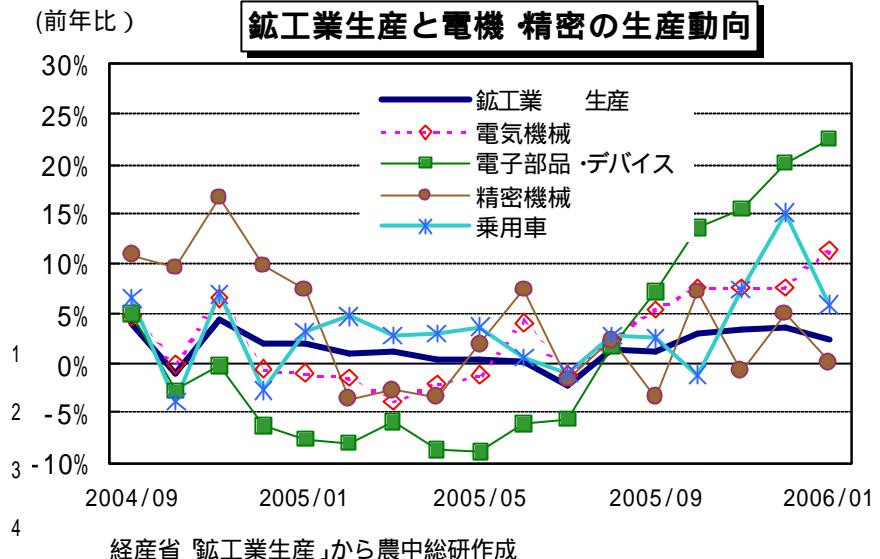
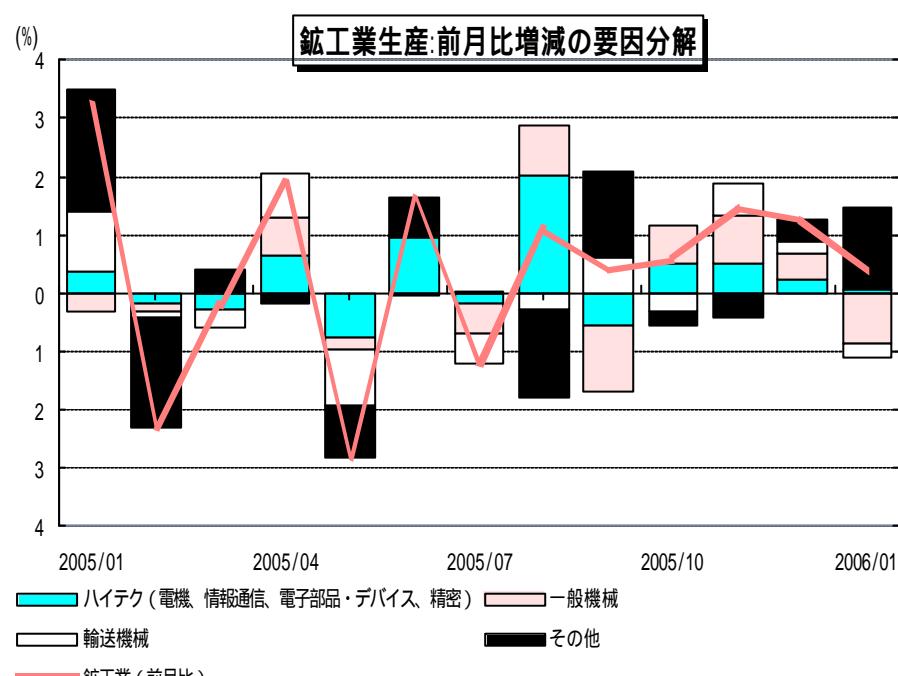
資料 経済産業省「鉱工業生産」

(注) 予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

- 1月の鉱工業生産指数(確報)は前月比+0.4%と6ヶ月連続で上昇。前年比でも+2.2%と6ヶ月連続のプラス。経済産業省は当面は生産が悪化する懸念が少ないとから、生産の基調判断を「緩やかな上昇傾向にある」と維持した。
- 先行き2月は同+0.5%上昇するが、3月は同-0.7%と低下する見通し。1~3月期は前期比+1.8%が見込まれ、今後、実現率・予測修正率が下方修正されたとしても前期比プラスとなることは確実視される。

# 鉱工業生産

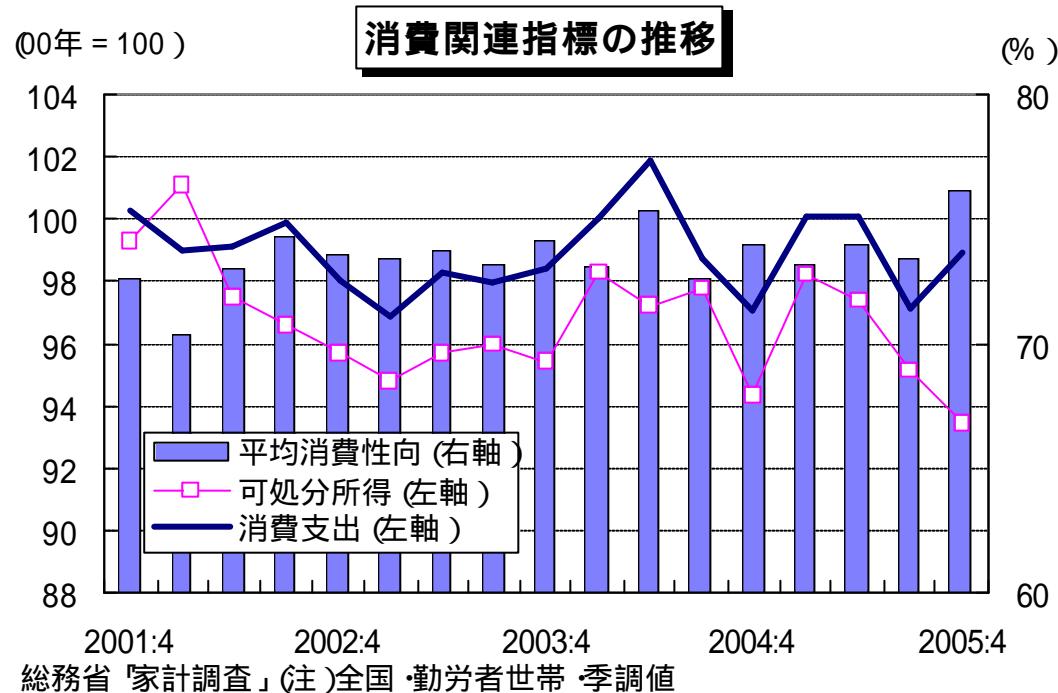
ハイテク関連は調整終了、伸び率が加速



経産省「鉱工業生産」から農中総研作成 (注 季節調整済値)

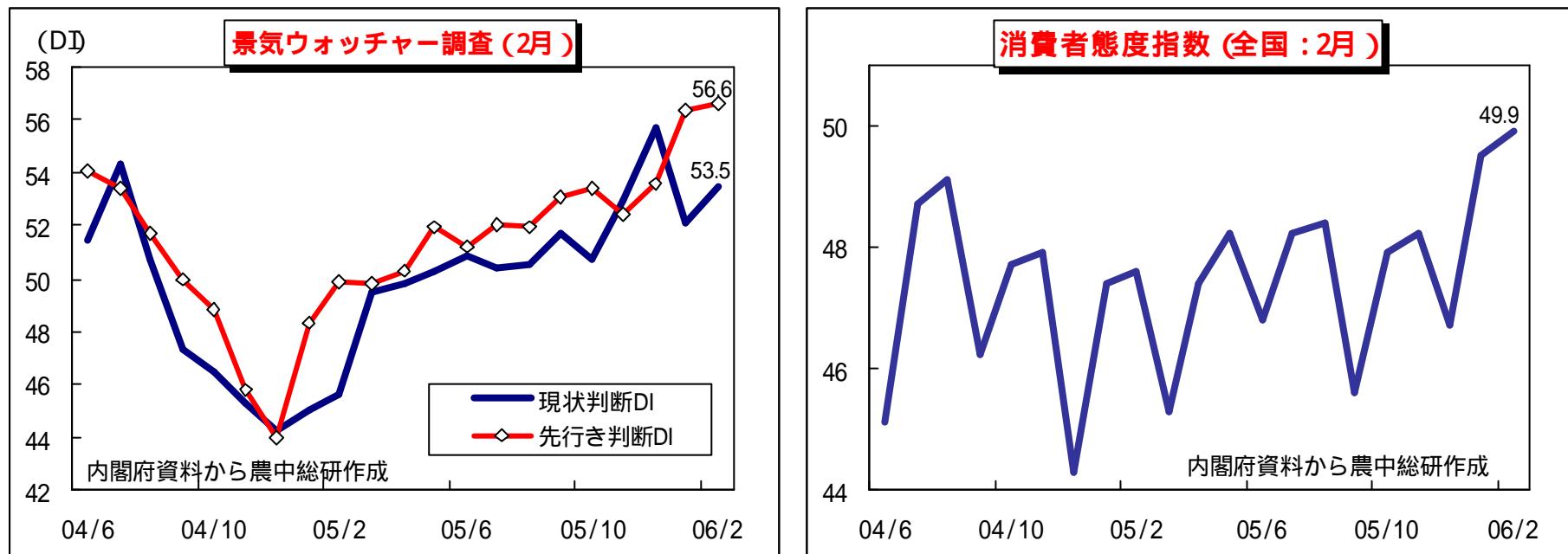
- 業種別の動向を見ると、1月は、化学工業、電子部品・デバイス工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、一般機械工業、輸送機械工業、情報通信機械工業等が低下した。
- 品目別では、春に新発売する化粧品などの生産が伸び、半導体集積回路の生産も増えた。
- 電子部品・デバイス等ハイテク関連業種の生産は04年9月以降減少傾向が続いたが、昨年8月には前年比プラスに転じ、その後は増加幅が加速している。
- また、既存設備の操業度を示す稼働率指数も高水準(1月は106.1)が続いており、企業のさらなる設備投資への波及効果が期待される。

# 個人消費 嶣冬の影響も寄与し 増勢に転じる



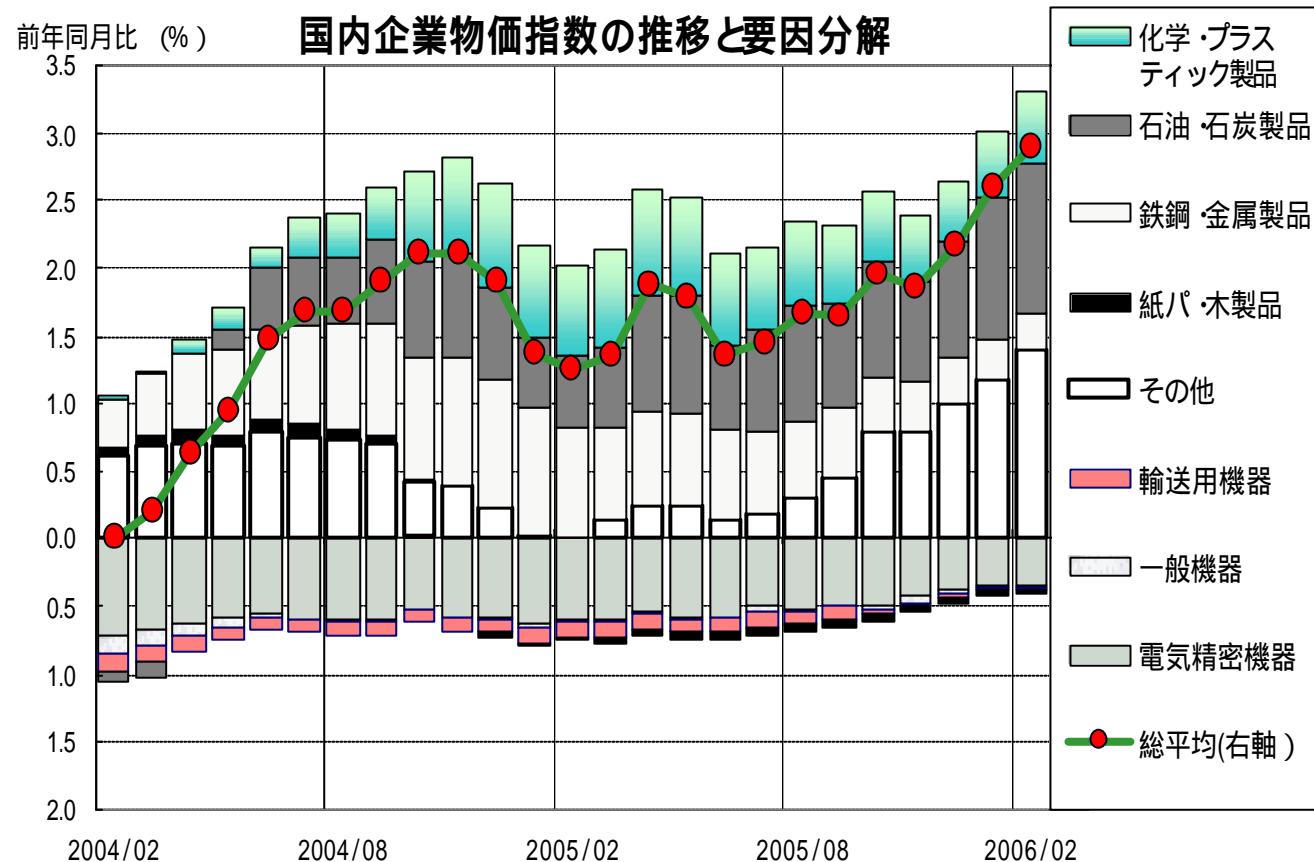
- 05年10～12月期の全国勤労者世帯の可処分所得は前期比 -1.8%と3四半期連続でマイナス(標本バイアスによると見られる)となったものの、消費支出は同 +1.9%と3四半期ぶりのプラスとなった。この結果、消費性向は76.2%と1990年1～3月期以来の高い水準となった。
- 10～12月期は雇用・所得環境の改善に伴う消費者マインド上昇のほか、厳冬による季節衣料の売れ行き好調などもあり、個人消費が堅調に推移したと見られる。
- ただし国民年金を含む年金保険料の引き上げ継続など、今後も社会保険料の増加が続くほか、06年1月からは定率減税が半減され、負担増加の影響が懸念される。

# 個人消費：雇用・賃金環境の改善を背景にマインド改善・向上



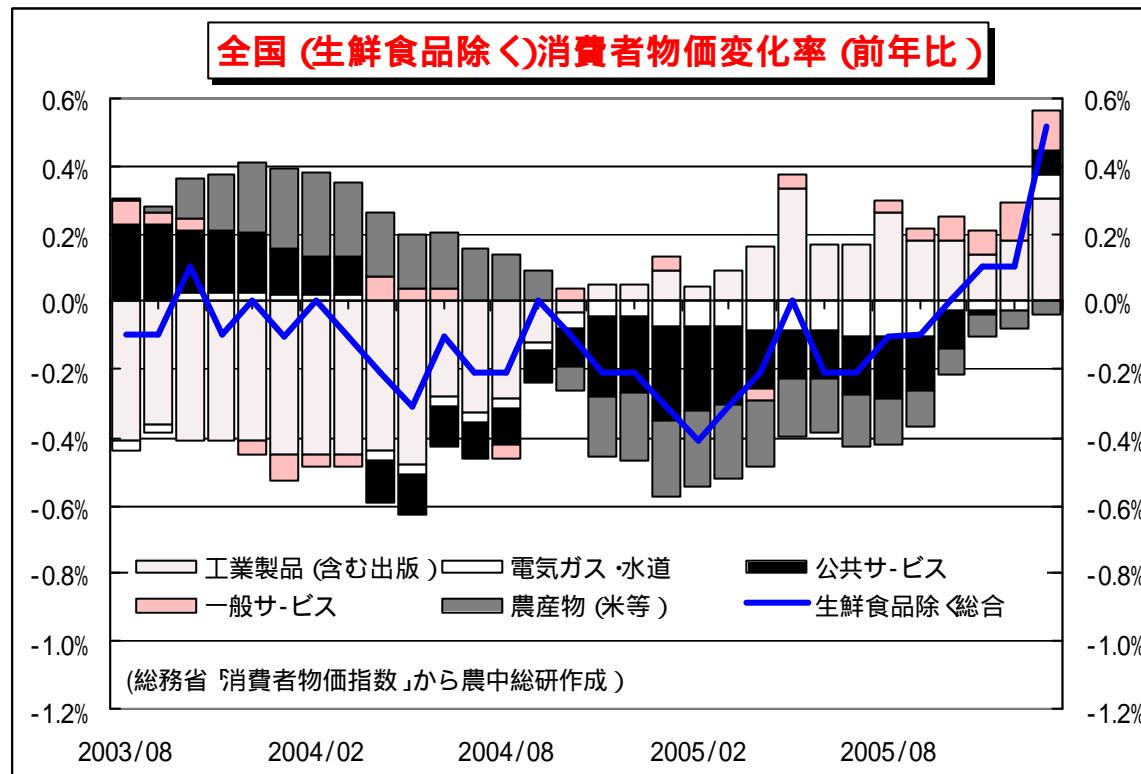
- 2月の景気ウォッチャー・現状判断DIは、前月比 + 1.4 pt の 53.5 と 2ヶ月ぶりに上昇。一方、先行き判断DIは、同 + 0.2 pt の 56.6 と 3ヶ月連続で上昇し、景況感が改善・向上している。
- 家計の消費意欲を示す2月の消費者態度指数は49.9と、前年に比べ + 2.3pt 上昇した。「雇用環境」や「収入の増え方」が改善したほか、「耐久財の買い時判断」も高水準を維持している。
- 景気回復持続を受け人手不足感から賃金が上昇傾向にある等、消費環境は基本的に良好さを保っている。先行きもサッカーW杯などの大型イベントが控えており、耐久消費財への購買意欲が高まることなどから、消費の増加が続くと予想される。

# 企業物価 :素材価格が上昇



- 2月の国内企業物価は前月比 +0.4%。前年比では+2.9%と上昇率が拡大。前月比では非鉄金属(銅地金)や石油・石炭製品(ガソリン)が上昇した一方、電気機器(印刷装置)等が下落した。国際商品市況の上昇や昨年後半の円安などを背景に前年比上昇を続けている。
- 2月は最終財が前年比 +1.1%と4ヶ月連続でプラスとなった。川上・川中からの価格上昇圧力が川下へ波及しつつある。

# 消費者物価 前年比プラスに転換、当面はプラス圏へ



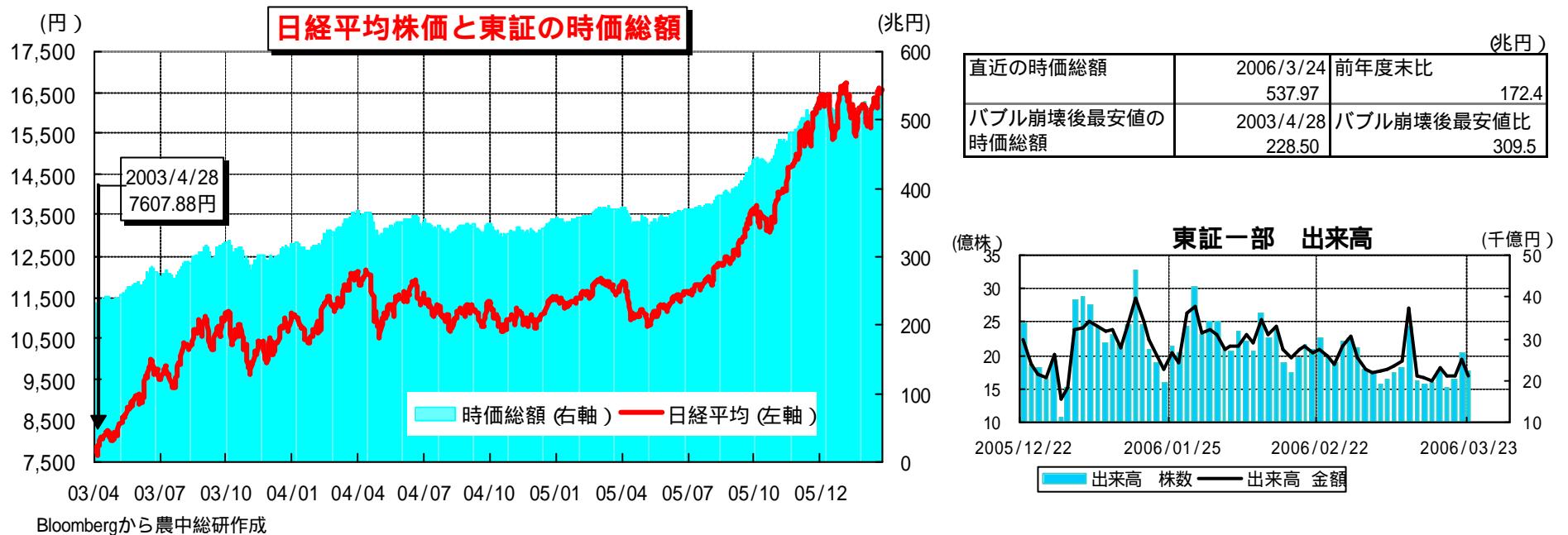
- 1月の消費者物価(除く生鮮食品)は前年比+0.5%と3ヶ月連続で上昇した。原油高を背景に灯油などのエネルギー関連が物価上昇を牽引し、上昇率は1998年3月以来の高水準となった。
- 試算値である「食料(酒類を除く)とエネルギーを除く総合」も同+0.1%と2ヶ月連続のプラスとなり、原油高の影響を差し引いても、デフレ脱却に向けて進展している。
- 当面は原油価格の高止まりに伴う価格転嫁が継続し、今後もプラス圏で推移するとみられる。
- ただし、06年度には電力・医療費・携帯電話料金の引き下げが行われることから物価押し下げ要因は若干ながら残る。

# 長期金利 新発10年国債利回り 小幅上昇して推移



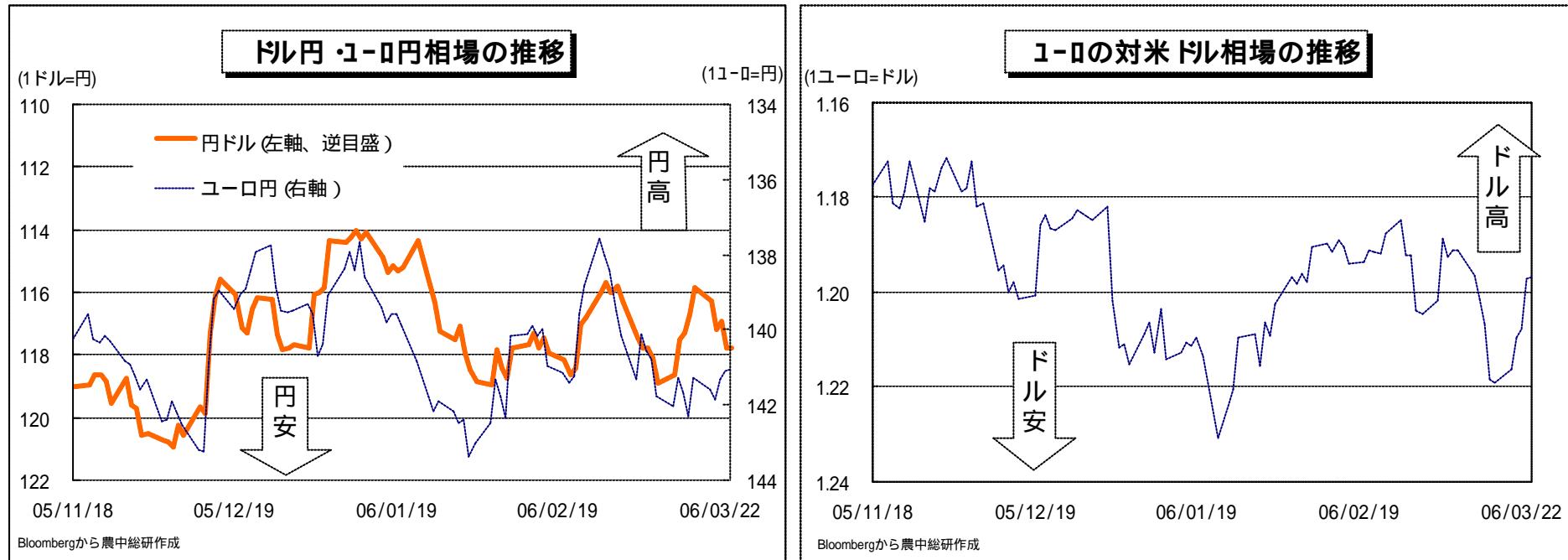
- 景気回復、株価上昇などによりデフレ脱却の時期が近づいたとの見方が広がり、現行の金融緩和政策の転換により 金利水準全体が上昇することが織り込まれ、05年11月には長期金利が 1.6%台前半まで上昇 (債券価格下落)した。
- しかし 11月中旬以降、政府・与党から日銀の量的緩和政策解除を牽制する発言が相次ぎ、長期金利は1.4%台に低下 (債券価格上昇)した。
- 新発10年国債利回りは、量的緩和政策の解除観測等を背景に上昇。3月9日の解除以降も上昇しており、このところは1.7%台前半で推移している。

# 株価 堅調な企業業績などを背景に上昇



- 直近の時価総額は、最安値時に比べ309兆円増加し 538兆円 (3月24日現在 )となっている。
- 東京株式市場は、05年5月以降、国内景気回復や構造改革続行への期待感等を背景に堅調な展開が続いた。ただし年明け1月16日には急浮上したライブドア問題やそれに起因する東証のシステム処理能力の限界も重なり一時的に軟調な動きを示した。
- 日経平均株価は、3月初旬に量的緩和解除の時期が早まるとの見方から円高が進み15,600円台まで下落したが、その後は米株高にも牽引され 16,500円程度まで上昇している。

# 為替動向 米利上げ継続観測から再びドル高方向へ



- 外国為替市場では、1月31日のFOMC(米連邦公開市場委員会)以降、米利上げ継続との見方が強まり 日米金利差拡大からドルが買われ、一時1ドル=119円台のドル高となった。その後は、日銀による量的緩和政策の解除観測から円高方向となつたものの、米利上げ継続期待からドレ買い安心感が強まり1ドル=117円～118円程度で推移している。3月27日～28日のFOMCに注目が集まっている。
- ユーロ・ドル相場は、ECB(欧州中央銀行)が昨年12月以降、2回の利上げを実施(現行政策金利は2.5%)したことからユーロが買われたが、このところは1ユーロ=1.2ドル付近で推移。ただし、インフレ警戒から次回5月のECB理事会で追加利上げを実施するとの予想が広がっている。

# 政府、日銀の景気判断：日銀が判断を上方修正

年月		政府月例報告		日銀金融経済月報	
2005年	3月	➡	一部に弱い動きがみられ、このところ回復が緩やかになっている	↗	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている
	4月	➡	一部に弱い動きが続いている、回復が緩やかになっている	➡	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている
	5月	➡	一部に弱い動きが続いている、緩やかに回復している	➡	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている
	6月	↗	弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復	➡	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、基調としては回復を続けている
	7月	➡	弱さを脱する動きがみられ、緩やかに回復	➡	IT(情報技術)関連分野における調整の動きを伴いつつも、回復を続けている
	8月	↗	緩やかに回復している	↗	IT(情報技術)関連分野における調整が進むもとで、回復を続けている
	9月	➡	緩やかに回復している	↗	回復を続けている
	10月	➡	緩やかに回復している	➡	回復を続けている
	11月	➡	緩やかに回復している	➡	回復を続けている
	12月	➡	緩やかに回復している	➡	回復を続けている
2006年	1月	➡	緩やかに回復している	↗	着実に回復を続けている
	2月	↗	回復している	➡	着実に回復を続けている
	3月	➡	回復している	➡	着実に回復を続けている

内閣府「月例経済報告」、日銀「経済月報」より農中総研作成（注）矢印は景気判断の方向を示す。

- 政府は、3月の月例経済報告で、景気の基調判断を据え置き。『景気は回復している』との表現を維持。先行きは原油価格をリスクとするものの『内需に支えられた回復が続く』との見通し。
- 日銀は3月の金融経済月報で、『着実に回復を続けている』と景気判断を据え置き。個別では、物価見通しについて『需給環境の緩やかな改善が続く中、若干の振れを伴いつつも、プラス基調で推移していく』と判断を強めている。

# 内外金融市場データ:

日付	長期金利				短期金利				外国為替			内外株価指数				海外金利			その他			
	新発10年国債利回	債先10年物中心限月	みずほコーザ新発5年金融債利回	金利スワップレート5年物(円-円)仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヶ月	LIBOR円3ヶ月	TIBORユーロ円6ヶ月	金利先物(利回り)中心限月	円ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ・ドル・スポットレート東京17:00現在	ユーロ円・スポットレート東京17:00現在	日経平均(225種)	TOPIX終値	NYダウ工業株30種平均	NASDAQ総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヶ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI期近	OPECバスケット価格
06/02/01	1.550	136.92	休場	1.017	0.001	0.1036	0.069	0.110	0.410	117.35	1.206	142.44	16,480.09	1,694.24	10,953.95	2,310.56	4.555	4.69	3.525	569.40	66.56	60.77
06/02/02	1.555	136.72	1.043	1.043	0.001	0.1036	0.068	0.110	0.420	118.38	1.209	142.81	16,710.55	1,711.02	10,851.98	2,281.57	4.557	4.71	3.508	572.50	64.68	59.49
06/02/03	1.580	136.40	1.069	1.072	0.001	0.1036	0.068	0.110	0.425	118.51	1.202	143.11	16,659.64	1,707.96	10,793.62	2,262.58	4.523	4.71	3.489	567.40	65.37	58.46
06/02/06	1.550	136.60	1.050	1.055	0.001	0.1036	0.069	0.110	0.420	118.68	1.197	142.38	16,747.76	1,712.30	10,798.27	2,258.80	4.543	4.72	3.486	570.20	65.11	59.34
06/02/07	1.570	136.42	1.065	1.074	0.001	0.1036	0.070	0.110	0.425	118.47	1.198	141.95	16,720.99	1,713.47	10,749.76	2,244.96	4.565	4.72	3.514	551.00	63.09	58.35
06/02/08	1.565	136.38	1.084	1.091	0.002	0.1036	0.070	0.110	0.445	117.86	1.196	141.09	16,272.68	1,671.39	10,858.62	2,266.98	4.587	4.72	3.504	550.10	62.55	休場
06/02/09	1.555	136.50	1.073	1.085	0.002	0.1036	0.072	0.110	0.440	118.69	1.198	142.10	16,439.67	1,682.26	10,883.35	2,255.87	4.543	4.74	3.477	564.50	62.62	57.17
06/02/10	1.595	135.82	休場	1.156	0.002	0.1036	0.072	0.110	0.495	117.59	1.190	140.87	16,257.83	1,660.22	10,919.05	2,261.88	4.585	4.74	3.476	550.20	61.84	56.63
06/02/13	1.550	136.21	1.136	1.152	0.002	0.1046	0.073	0.110	0.520	117.89	1.190	140.31	15,877.66	1,618.01	10,892.32	2,239.81	4.577	4.75	3.492	539.00	61.24	55.92
06/02/14	1.595	135.87	1.156	1.180	0.001	0.1046	0.074	0.110	0.520	117.29	1.192	139.73	16,184.87	1,635.24	11,028.39	2,262.17	4.610	4.75	3.498	545.90	59.57	55.30
06/02/15	1.550	135.98	1.162	1.217	0.001	0.1046	0.073	0.110	0.540	117.60	1.189	140.12	15,932.83	1,624.28	11,058.97	2,276.43	4.596	4.75	3.506	539.70	57.65	54.45
06/02/16	1.555	136.29	1.108	1.192	0.001	0.1046	0.074	0.111	0.520	117.77	1.191	139.96	16,043.67	1,631.39	11,120.68	2,294.63	4.583	4.77	3.512	546.00	58.46	53.62
06/02/17	1.510	136.47	1.145	1.203	0.001	0.1046	0.074	0.112	0.535	117.92	1.194	140.12	15,713.45	1,605.33	11,115.32	2,282.36	4.537	4.77	3.447	551.80	59.88	54.37
06/02/20	1.520	136.60	1.128	1.180	0.001	0.1046	0.074	0.113	0.515	118.18	1.194	141.27	15,437.93	1,572.11	休場	休場	4.537	4.77	3.436	休場	休場	55.46
06/02/21	1.525	136.82	1.103	1.149	0.001	0.1055	0.077	0.114	0.510	118.59	1.191	141.29	15,894.94	1,612.56	11,069.06	2,262.96	4.565	4.77	3.448	553.90	61.10	56.07
06/02/22	1.515	136.68	1.105	1.154	0.003	0.1055	0.078	0.114	0.505	118.58	1.191	141.28	15,781.78	1,609.46	11,137.17	2,283.17	4.521	4.78	3.419	553.90	61.01	55.72
06/02/23	1.545	136.27	1.137	1.184	0.001	0.1055	0.077	0.114	0.505	117.66	1.192	140.05	16,096.10	1,640.47	11,069.22	2,279.32	4.555	4.80	3.479	548.40	60.54	55.18
06/02/24	1.595	135.65	1.227	1.289	0.001	0.1055	0.083	0.115	0.560	116.63	1.188	139.00	16,101.91	1,647.74	11,061.85	2,287.04	4.573	4.81	3.490	558.80	62.91	56.24
06/02/27	1.600	135.86	休場	1.283	0.001	0.1091	0.088	0.118	0.565	116.19	1.185	137.77	16,192.95	1,656.82	11,097.55	2,307.18	4.590	4.82	3.532	557.00	61.00	56.38
06/02/28	1.585	135.99	1.210	1.278	0.002	0.1100	0.093	0.120	0.580	116.35	1.192	137.86	16,205.43	1,660.42	10,993.41	2,281.39	4.551	4.82	3.489	563.90	61.41	56.01
06/03/01	1.600	135.86	1.231	1.293	0.002	0.1109	0.093	0.120	0.575	115.84	1.192	138.26	15,964.46	1,635.60	11,053.53	2,314.64	4.585	4.83	3.511	565.80	61.97	57.13
06/03/02	1.635	135.80	1.225	1.292	0.002	0.1118	0.091	0.120	0.570	116.08	1.204	138.53	15,909.76	1,632.24	11,025.51	2,311.11	4.628	4.84	3.573	570.40	63.36	58.10
06/03/03	1.620	136.01	1.212	1.281	0.002	0.1118	0.094	0.124	0.595	116.26	1.205	139.79	15,663.34	1,612.96	11,021.59	2,302.60	4.680	4.85	3.591	568.00	63.67	59.08
06/03/06	1.635	135.79	1.230	1.301	0.001	0.1118	0.096	0.125	0.595	116.97	1.202	141.19	15,901.16	1,626.46	10,958.59	2,286.03	4.750	4.86	3.585	556.80	62.41	58.64
06/03/07	1.645	135.68	1.225	1.293	0.002	0.1127	0.098	0.125	0.590	117.79	1.189	140.75	15,726.02	1,617.87	10,980.69	2,268.38	4.722	4.87	3.599	554.50	61.58	57.47
06/03/08	1.600	136.12	1.178	1.248	0.002	0.1155	0.098	0.133	0.565	117.57	1.193	140.12	15,627.49	1,605.58	11,005.74	2,267.46	4.726	4.88	3.644	544.30	60.02	56.04
06/03/09	1.600	136.18	1.174	1.251	0.002	0.1173	0.097	0.133	0.540	117.85	1.191	140.78	16,036.91	1,641.01	10,972.28	2,249.72	4.724	4.89	3.648	547.00	60.47	55.73
06/03/10	1.670	134.60	1.206	1.281	0.003	0.1182	0.100	0.134	0.570	118.22	1.191	140.89	16,115.63	1,647.27	11,076.34	2,262.04	4.757	4.90	3.687	541.30	59.96	N.A.
06/03/13	1.690	134.07	1.233	1.361	0.003	0.1191	0.103	0.136	0.615	118.82	1.196	142.11	16,361.51	1,674.66	11,076.02	2,267.03	4.767	4.91	3.712	547.50	61.77	56.18
06/03/14	1.675	134.20	1.278	1.374	0.002	0.1209	0.106	0.139	0.835	118.60	1.201	141.95	16,238.36	1,665.79	11,151.34	2,295.90	4.692	4.92	3.654	553.00	63.10	57.69
06/03/15	1.720	133.80	1.319	1.421	0.003	0.1218	0.106	0.144	0.850	117.52	1.207	141.35	16,319.04	1,666.78	11,209.77	2,311.84	4.727	4.92	3.688	554.40	62.17	58.30
06/03/16	1.725	134.03	1.291	1.392	0.003	0.1236	0.106	0.145	0.825	117.67	1.218	141.87	16,096.21	1,645.06	11,253.24	2,299.56	4.640	4.93	3.658	555.40	63.58	57.45
06/03/17	1.715	134.05	1.284	1.378	0.002	0.1236	0.106	0.145	0.810	116.68	1.219	141.78	16,339.73	1,663.98	11,279.65	2,306.48	4.670	4.93	3.691	555.10	62.77	58.47
06/03/20	1.730	133.78	1.313	1.395	0.002	0.1236	0.106	0.147	0.810	116.10	1.216	141.49	16,624.80	1,688.22	11,274.53	2,314.11	4.656	4.94	3.663	556.10	60.42	57.32
06/03/21	1.730	休場	休場	休場	休場	0.106	休場	休場	休場	1.210	休場	休場	11,235.47	2,294.23	4.717	4.94	3.665	553.20	60.57	56.14		
06/03/22	1.725	133.72	1.333	1.420	0.002	0.1227	0.109	0.147	0.835	117.23	1.208	141.70	16,495.48	1,686.35	11,317.43	2,303.35	4.699	4.95	3.644	551.70	61.77	56.70
06/03/23	1.715	133.89	1.324	1.418	0.002	0.1227	0.111	0.148	0.830	116.90	1.197	141.05	16,489.37	1,680.09	11,270.29	2,300.15	4.733	4.96	3.675	550.80	63.91	57.14
06/03/24	1.730	133.74	1.335	1.434	0.002	0.1236	0.112	0.150	0.835	118.08	1.204	141.26	16,560.87	1,689.34	11,279.97	2,312.82	4.669	4.96	3.634	560.50	64.26	58.05
06/03/27	1.690	134.11	1.303	1.410	0.002	0.1246	0.113	0.150	0.820	116.69	1.202	140.53	16,650.10	1,693.84	11,250.11	2,315.58	4.703	4.96	3.642	567.40	64.16	N.A.
06/03/28	1.700	133.99		1.424		0.1246		0.150	0													



# 農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2006 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

03-3243-7366